

組織現況 2023年5月31日現在



組合員数
25,919人
出資金総額
103,197万円
一人当たりの出資額
39,815円

虹のまち

とやま医療生協

2023年7月号 No.483

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8352 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
<http://www.toyama-hcoop.com/>
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

発行 富山医療生活協同組合



核兵器のない
平和で公正な
世界を

原水爆禁止
2023年世界大会

2023 World Conference against A&H Bombs

青年部

ひらく

富山医療生協では組合員1名、職員2名の代表派遣を予定しています。

とき 8月7日(月)~9日(水)
ところ 長崎県長崎市

2023年カンパ物販売にご協力お願いします。売上げは、原水爆禁止世界大会への代表派遣のためにも活用させていただきます。

お問い合わせ
富山医療生協 組織部
☎076-441-8351

五月二十六日金曜日、富山駅南北自由通路で行われた街頭署名行動に、職員、社保委員から二十六名の参加がありました。

十六時から一時間の行動で署名三十四筆、シール投票六十四票、チラシ(ティッシュ)受け取ってくれた方一四四名、健康チェックも盛況に行われました。

「九条を守らねば、戦争はダメです」と親子連れの母親が署名に応じくれ、またシール投票では「改憲反対に高校生のほとんどが貼

つけられました。

喜びの声がありました。

マスコミの取材もあり新報道にて今回の活動が取り上げられていました。

【憲法改悪を許さない全国署名】はまだ続込みます。署名行動へのご協力よろしくお願いします。

こちらから
署名できます



夏に美味しいものは、そうめん、冷麦、かき氷、アイスなど、色々ある中でやっぱりスピードが一番でしょ。

「でも食べ過ぎには注意しましよう!」と付け加えられています。季節はやがて初秋ともなれば、今度は秋の美味しいものが出来始めます、楽しみなことです。(M)

り。果物の中ではビタミンCが多い方なので、体の調子を整えるには良いと話しておられる富山協立病院栄養科科長の浅井雅子さんは、「でも食べ過ぎには注意しましよう!」と付け加えられています。季節はやがて初秋ともなれば、今度は秋の美味しいものが出来始めます、楽しみなことです。(M)

内視鏡

第70回 通常総代会第1号議案(イ)
2022年度 活動のまとめ
 2023年6月24日(土)

2022年度の
スローガン

**誰もが健康で
～創意工夫で～**

1 病院新棟建設事業の成功



第69回総代会では、病院建設費用の増額について決定し、その内容を組合員のみなさんにお知らせしてきました。また、病院では職員全体会開催や職場での検討を何度も行い、その準備をすすめました。現時点(5月上旬)では、新棟5階部分まで鉄骨の建て方を実施しており、全体工程の約17%の進捗率となっています。12月には新棟が完成し、準備や引越しの後、3月からは新棟での診療が開始できるよう準備を進めています。

この1年間、事業の成功に向けて、多くのみなさんの協力を得て、1億円の増資目標を達成することができました。感謝とともに大きな確信となりました。また、病院周辺地域を全戸訪問し、新棟建設事業を知らせる活動も展開しています。その中では、地域のみなさんから多くの期待の声が寄せられています。引き続き、組合員と職員の共同で、事業の成功を進めていきましょう。

2 身近なつながりを活かして、 健康で居心地よく暮らせるまちづくりをすすめる課題

①地域まるごと健康づくり

- ・支部単位でのウォーキングイベントを実施し、昨年よりも多くの参加者となりました(406名←昨年は352名)。
- ・新たな地域での健康チェック(高岡八丁道など)、また購買生協との共同開催(高岡、小矢部など)も行われました。健康チャレンジャーは、コロナ禍における効果的な健康づくりとして取り組み、830名(うち、きっかけ418名)が達成しました。
- ・健診受診率を高めるための意識的な取り組みは十分にはできませんでした。



②支え合いのまちづくり

- ・「居場所づくり」の点では、「くらしの学校」での学習と交流(『桜谷こども食堂』、『サロンおかもと』、『よってかれえがお』)を行うことができました。また、居場所づくり助成金制度について検討をすすめ、2023年度から運用を開始していくことになりました。
- ・富山市との自治体懇談において、高齢者の移動手段の充実を中心に要望しました。運転免許返納者に対する様々な援助制度があることを知ることができました。
- ・たすけっとクラブの活動は、利用時間が伸びてきているとともに、なかま増やしなど組織強化の活動にもつながっています。

③くらし安心のネットワークづくり

- ・「虹のまち」配付者交流会の実施や、配付者増やしを推進した支部があり、新ルートが37コース増えました。



一方で、解散コースも前年比で2倍化して、20コースありました。

- ・生協強化月間で、3年ぶりに職員と組合員の共同行動が実施でき、お互いに励まされて有意義な取り組みができました。
- ・オンライン・SNSを活用した取り組みについては進展することができました。
- ・なかま増やし…669名／1,200名
増出資…1億69万円／1億円
班会回数…1,559回／2,000回

3

①総合的
くり
医療
実施が
り看護
また
療機関
の依頼
大きく
能型居
宅事業
ていま
②質の高
感度
3院所
コロナ
デイケ
ことが
対策の
ができ

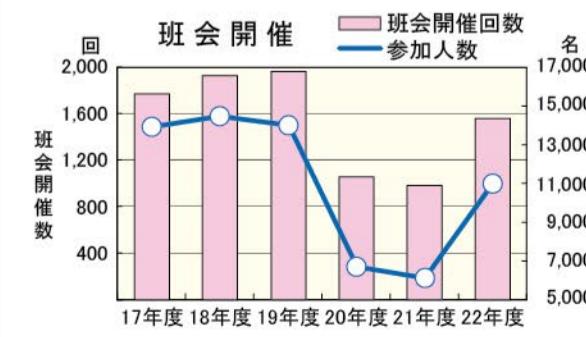
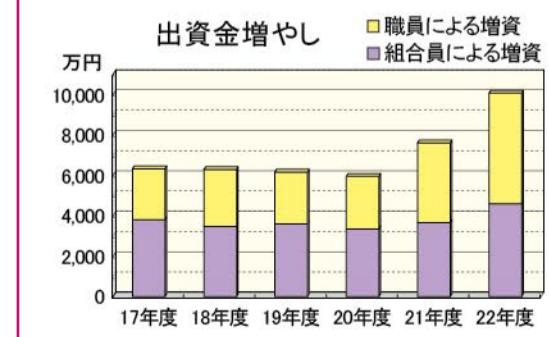
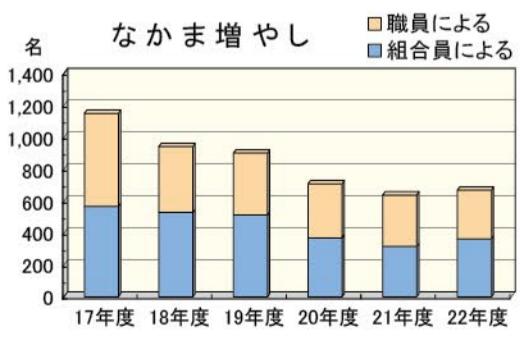
5

①ロシア
合わセ
②75歳
めまし
③とよた
ました

【別表】

●たすけ
利用回数
新規利用
新協力申
生協新加入

2022年度の
活動状況



よく暮らせるまちづくりをすすめよう ささえあい 安心を高める」とりくみを広げる～

に取り組み、

の声も寄せられ、出資や増資の果たす役割を、さらに広く金確保の面からは、前年度を組合員と職員が一体となって取り組み、生協をより強く大きくしていきます。



すすめ、 ります



- ・ホームページや機関紙内容等の見直しをすすめ、医療生協活動の広報活動を充実します。
- ・オンライン通信やSNSを活用した組合員同士の交流を広げます。

- ・病院周辺地域に「新棟お知らせ」行動をおこない、協力依頼とともに要望等の意見収集を行います。
- ・事業と運動を支えるにふさわしい組織目標を掲げて取り組みます。

2023年度 3課題目標

	2023年度目標	2022年度実績	備考
なかま増やし	1,200人	669人	26,000人の組織へ回復めざす
増資	1億3千万円	1億69万円	3年間で純増1億4千万円の最終年として目標達成をめざす
班会	2,000回	1,559回	コロナ前までの水準へ回復する

護活動をすすめ、 す

選ばれる事業所づくりをすすめます。

③経営改善をすすめ、足腰の強い 経営づくり

- ・新棟建設事業を成功させるためにも、資金上も安定的に継続していくための具体的な取り組みを明確にして、経営改善をすすめます。
- ・各事業所において、全職員が参加して予算づくりや、その進捗管理を行っていけるようなシス



- ・テムづくりとして、事業所別独立会計制度の確立をすすめます。
- ・資金確保の視点から増出資目標を明確にし、その達成を目指します。また、年齢別出資状況を把握し、高齢組合員の法定脱退に備えた対策と対応をすすめます。

4

医療福祉生協の 理念を実践する ひとづくりをすすめ、 ともに学び合います

- ①組合員と職員が「ともに学ぶ」機会を通して信頼関係を築き、事業と運動への結集につなげます。とりわけ2023年度は、「健康ってなあ～に?」のテーマを通して健康づくりについての論議をすすめます。
- ②機関紙「虹のまち」や「comcom」、「虹のネットワーク」、「みんなで学ぶ医療福祉生協」、などを活用して学ぶ活動をすすめます。
- ③医療福祉生協の理念や事業所の魅力を発信することで、医師をはじめとした医療・介護従事者の新規採用につなげ、将来を担う人材を計画的に育成していきます。
- ④組合員の「いきがい」「やりがい」を大切にし、機関紙配付や活動に参加する、地域の担い手づくりをすすめます。

5

幅広い連携で平和で 公正な社会づくりを すすめます

- ①気候危機問題、エネルギー問題、私たちの生活スタイルや経済のあり方について、SDGsの視点から考え、行動します。
- ②日本国憲法を学び、軍備拡大の危険性にも目を向け、改憲の動きを阻止するために活動します。
- ③「アクセスに関する権利」の拡充めざして社会保障の改善、交通弱者への自治体による改善対応を求めます。
- ④協同組合間をはじめ他団体との協力を強め、サステナブルを基調に、フードドライブ、子ども食堂等に取り組みます。
- ⑤ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議行動をはじめ、世界の平和と秩序、安全を守るために声を上げていきます。



第70回 通常総代会第2号議案(イ)



2023年度の 活動のすすめ方

医療福祉生協連

スローガン

誰もが健康で居心地 ～地域に出かけ「つながり

2023年度 情勢展望

- ①長引くコロナ禍、終わりの見えないウクライナ侵攻、円安等による物価高騰が続き、生活困難の進行、貧困の拡大、そして事業経営への影響も大きくなってきています。
- ②新型コロナ感染症は「5類」へ移行されましたが、医療機関や介護事業所のひつ迫状況は継続しており、その対応が引き続き求められています。
- ③岸田内閣による「安保3文書」に見られる大軍拡進路線への危険な動きが加速しており、憲法を守り、戦争させない国づくりが必要です。
- ④75歳以上高齢者の医療保険料の引上げやマイナンバーカード化にともなう健康保険証の廃止の動きなど、医療・介護など社会保障制度改悪がいっそう進んできています。

■総代会後の主な組合員活動内容(予定)

7月

8月 原水爆禁止世界大会

9月 富山県母親大会

10月 WHO世界と歩こうウォーキング
生協学校(予定)
富山診療所健康まつり(予定)11月 月間ジャンプ集会
日本母親大会(山口県)
健康講座

1月 くらしの学校

2月 虹のバレンタイン行動

3月 組合員のつどい

虹の出会い月間



1 富山協立病院新棟建設事業 生協を強く大きくします

新棟建設事業の取り組みを通じて、地域の方や組合員さんからの期待などの資金面での基盤づくりも進んできています。今後は、富山協立病院地域に知らせ、建設事業への理解と協力を求めていきます。とりわけ資金上回る1億3,000万円の増出資を目標にすすめています。その活動を

2 健康づくり、まちづくりを 安心のネットワークをつく

①地域まるごと健康づくり

- ・支部活動や班会を通して、健康ウォーキング、フレイル・オーラルフレイル予防(シルバーリハビリ体操・脳トレ・あいうべ体操等)、健康チャレンジ、すこしお、タンパク質摂取等の医療生協の健康づくり活動を広めます。
- ・まちかど健康チェックに大いに取り組み、行政や他団体との共同も追求します。

②支え合いのまちづくり

- ・地域の状況に合わせた「居場所づくり」に取り組みます。居場所づくり助成金制度も活用して、多くの支部で、いろいろな形での取り組みを追求します。

- ・地域の「困った」に早く気付き、話し合い、互いに寄り添って解決するために努力します。必要な事項について自治体への働きかけも行っていきます。
- ・支え合い活動として「たすけっこクラブ」を発展させ、その活動を通じて、医療生協の支部や班づくりをより活性化していきます。

- ③くらし安心のネットワークづくり
 - ・「誰もが居心地よく暮らせるまち」をつくっていくために、「ゆるやかなつながり」を広げ、なま増やしや担い手づくりにつなげます。

3 「総合力と連携」で医療・介護 持続可能な事業をつくりま

①求められる役割を果たす事業活動

- ・組合員や地域の医療・介護ニーズを的確に把握し、「総合力と連携」を発揮して積極的な役割を果たします。
- ・新型コロナ感染症への対応の継続を前提とした医療・介護体制を構築し、運用していきます。
- ・2024年度の診療報酬・介護報酬同時改定、第8次医療事

業計画・第9期介護保険事業計画を見据えた事業戦略づくりをすすめます。

②質の高い医療・介護サービスの提供

- ・感染予防対策、安全対策を徹底し、安全で質の高い医療・介護サービスの提供をおこないます。
- ・在宅医療、透析医療、看護小規模多機能型居宅介護など特徴ある医療・介護活動を推進し、

居心地よく暮らせるまちづくりをすすめよう 「でかける つながる 安心を結ぶ」とりくみを広げる～

経営改善をすすめるとともに、 「総合力と連携」で医療・介護活動をすすめる課題

的な事業の追求と選ばれる事業所づ

養・介護の連携による継続的な療養のすすみました(病院退院患者のひまわり小規模多機能での療養受入れなど)。富山診療所は「訪問診療ができる医療」として、周辺の公的病院や施設からも頼りがあり、その要望に応え、往診件数は増加しました。ひまわり看護小規模多機能居宅介護事業は、近隣医療機関や居業所からの紹介も増え、利用が増えています。

高い医療・介護サービスの提供

染予防対策を行いながら、発熱外来を行で実施しています。2022年度は、新型クラスターが入院病棟やデイサービス、アで発生しましたが、機敏に対応することができました。職場では、感染対策、安全の研修を実施し、質の向上をはかることました。

③経営改善をすすめ、持続可能な事業基盤を強化する課題

- 病院新棟建設費を見込んだ必要利益を明確にして取り組んできましたが、経常剰余は1億5,876万円で予算には届きませんでした。新型コロナ感染による利用減と医師体制困難状況により、事業収益を伸ばすことができなかったことが要因となっていると考えられます。
- 介護事業において、看護小規模多機能における登録者数増や看護体制強化加算取得、また全体的な人員管理体制整備により、特にひまわりで経営改善がすんだことが評価できます。



4 医療福祉生協の理念を実践する人づくりをすすめる課題

- 「2030 ビジョン」の学習は通信教育等で個別的に実施されていますが、全体として組織的には取り組んでいません。
- 医療介護従事者の確保については、特に医師、介護職員の確保で厳しい状況が続いています。医師については、特別チームを組んで具体的な対応をすすめているところです。
- 新しく支部運営委員に参加してもらったり、機関紙配付者探しの活動もおこなうなど、その広がりも一部の地域でありましたが、全体としては支部の担い手づくりがなかなか進んでいない実態があります。
- 生協創立60周年にあたり、「虹のまち」にて特集を組んでお知らせしました。病院新棟建設事業完成時に改めて、記念行事等を行う予定としています。

幅広い連携で平和で公正な社会づくりをすすめる課題

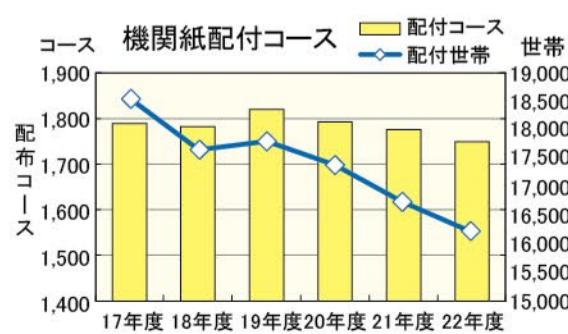
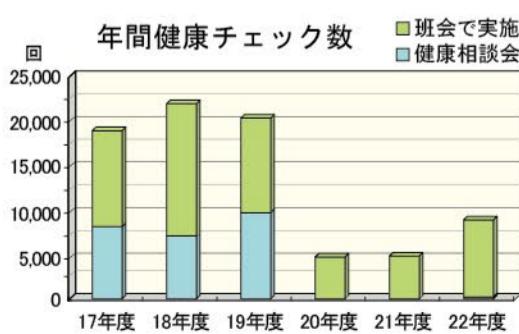


によるウクライナ軍事侵略に抗議するスタンディング等の諸行動を、継続して取り組みました。改憲阻止署名に取り組み、平和活動を推進してきました。以上の窓口2割負担化導入に対しては、具体的な声集めや導入反対署名等の運動をすすめました。4支部を中心に実施した「ヘチマたわし」づくりを通じて、環境問題について考えることができます。

●組織&その他の課題到達 (2022年度)

課題	実績	目標	前年
なま増やし(人)	669	1,200	637
出資金(万円)	10,069	10,000	7,588
増資人数	3,164	5,000	3,344
班会開催数	1,559	2,000	983
班会開催班	166	285	145
健康チャレンジャー終了者	830	500	927
通信教育	106	200	120

課題	実績	目標	前年
新規づくり(含む再開)	21	76	22
支部設立・分割	0	2	0
運営委員・センター	281	380	278
班会参加者数	10,992	—	6,117
新規配付コース	37	100	41
健康チェック数	8,837	20,000	4,800



2022年度 富山医療生協のあゆみ

- | | |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------|
| 4月 | WHO世界保健デー (中止) |
| 5月 | 13:地区別総代会議 (4会場) |
| 6月 | 25:第69回通常総代会 (195名) |
| 7月 | 平和納涼まつり (中止) |
| 9月 | 11-12:全日本民医連共同組織活動交流集会in山梨 (76名) オンライン
29:健康づくり係交流会 (30名) |
| 10月 | 2:月間せーの行動 (51名)
WHOウォーキング (26支部・406名)
水橋健康まつり (中止)
富山診療所健康まつり (中止) |
| 11月 | 5:月間ジャンプ集会&新棟建設スタート集会 (120名)
22:健康講座 (44名) |
| 1月 | 21:くらしの学校 (91名) |
| 3月 | 4:組合員のつどい (88名) |

貸 借 対 照 表

2023年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		期末残高	負債及び資本の部	期末残高
I. 流動資産	1,379,217,591	III. 流動負債	322,346,350	
現金・預金	760,022,243	短期借入金	0	
医療未収金	583,880,699	長期借入1年以内償還	0	
貸倒引当金△	3,600,000	短期リース債務	257,413	
棚卸資産	17,806,736	買掛金	83,662,485	
仮払金	0	未払費用	0	
未収金	4,492,000	預り金	8,410,173	
前払費用	16,363,385	出資預り金	4,305,874	
立替金	252,528	賞与引当金	179,008,941	
繰延税金資産	0	未払消費税	979,300	
仮払消費税	0	未払法人税等	27,854,900	
II. 固定資産	2,488,958,337	未払い金	17,867,264	
(1) 有形固定資産	2,102,279,904	IV. 固定負債	1,368,041,154	
1. 建物	2,044,722,425	長期借入金	624,000,000	
減価償却累計額△	1,402,966,810	組合債	0	
2. 建物付属設備	1,662,002,895	長期預り金	1,320,000	
減価償却累計額△	1,576,777,763	退職給付引当金	736,454,413	
3. 建物造作	0	役員退職慰労引当金	6,266,741	
減価償却累計額△	0	リース負債	0	
4. 構築物	202,781,448	負債合計	1,690,387,504	
減価償却累計額△	186,946,550	V. 出資金	1,023,470,000	
5. 医療機械	812,735,948	組合員出資金	1,023,470,000	
減価償却累計額△	767,537,633	VI. 剰余金	1,154,318,424	
6. 器具備品	342,138,927	(1) 法定積立金	318,150,000	
減価償却累計額△	320,750,485	法定準備金	318,150,000	
7. リース資産	151,205,760	(2) 医療福祉等積立金	479,500,000	
減価償却累計額△	150,729,068	医療福祉等事業積立金	392,000,000	
8. 土地	556,706,591	(病院新棟建設積立)	87,500,000	
9. 建設仮勘定	735,694,219	(3) 任意積立金	37,000,000	
(2) 無形固定資産	26,022,422	別途積立金	0	
借地権	9,710,428	役員退職慰労積立金	0	
水道加入権	0	生協会館建設準備金	37,000,000	
水利権	0	(4) 当期末処分剰余金	319,668,424	
パソコンソフト	16,311,994	前期繰越剰余金	5,190,942	
(3) その他固定資産	360,656,011	当期剰余金	314,477,482	
関係団体出資金	6,615,000	資本合計	2,177,788,424	
敷金	11,040,731	負債及び資本合計	3,868,175,928	
差入保証金	37,000			
奨学金	18,610,000			
保険積立金	218,975,965			
長期前払消費税	5,377,315			
長期繰延税金資産	100,000,000			
資産合計	3,868,175,928			

監査報告書

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。理事会その他重要な会議に出席し、日常監査を継続しました。上半期監査において、富山協立病院の新棟建設を踏まえた経営体制について医事課職員・看護師・医師らからの率直な意見聴取に基づき監査所見を報告しました。また、介護施設ひまわりの職員から意見聴取し、有料老人ホームの経営を含む経営改善実態を踏まえ、事業所独立会計の萌芽を指摘するなど、いくつかの率直な監査所見を表明したところです。なお、諸般の事情から経営委員会の開催には至りませんでした。監事會は、ほぼ3か月毎に開催して継続する課題の検討と改善等の実現に向け協議しました。

今期においても、新型コロナによる影響のもと、大変困難な中で職員等の奮闘により、医療・福祉事業を守り抜いている姿に、心から敬意を表します。

このほか、重要な決算書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書等の監査結果

- ① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

3. 監査所見

すでに是正措置が取られたとはいえ、前期に変更された退職給付会計の計算過程に誤りが生じていた点は、事務体制を含めた改善が早急に必要であることを示しています。その他については、上半期監査において、具体的に指摘した通りです。来期に向け、進捗する富山協立病院の新棟建設事業が成功裏に進められるよう要望します。

2023年5月23日 富山医療生活協同組合 監事 藤田 康雄 中田 幸子 上田 由美子

2022年度決算報告

《損益計算書》

自2022年4月1日~

至2023年3月31日

(単位:円)

《事業収入》	3,526,974,808
医療収入	2,626,848,030
入院収益	1,433,880,712
外来通院収益	442,551,302
外来透析収益	293,502,650
在宅訪問収益	323,828,485
健診収益	101,097,935
予防接種収益	32,014,394
その他の医業収益	6,086,496
保険査定等	△ 6,113,944
介護収入	888,092,690
訪問看護	89,302,142
訪問介護	96,042,966
訪問リハビリ	4,611,926
定期巡回随時訪問	1,830,776
療養指導他	24,169,478
通所介護・リハビリ	383,354,291
看護小規模多機能	104,399,000
居宅支援	129,560,885
包括支援センター	25,741,039
有料老人ホーム	24,450,872
その他の介護収益	4,681,663
保険査定等	△ 52,348
福祉収入	12,014,089
保育補助金	3,246,000
保育料	4,161,545
福祉活動収益	4,606,544
その他の事業収益	19,999
《事業費用》	3,419,537,688
医療材料費	286,147,076
医薬品費	124,820,102
治療材料費	150,818,766
給食材料費	10,508,208
一般管理費	3,133,390,612
人件費	2,253,320,734
委託費	267,544,769
経費	383,202,273
リース料	36,515,665
減価償却費	102,704,755
消費税	90,102,416
《事業剰余金》	107,437,120
【事業外収入】	56,713,798
受取利息他	36,614
補助金収入	17,860,801
雑収入	38,816,383
【事業外費用】	5,394,160
支払利息	2,798,270
診療費減免	511,500
雑損失	2,084,390
《経常剰余金》	158,756,758
【特別利益】	188,961,308
その他	188,961,308
【特別損失】	5,385,684
固定資産除却損失	5,385,684
《税引前剰余金》	342,332,382
【法人税等】	27,854,900
《当期剰余金》	314,477,482
【前期繰越剰余金】	5,190,942
《当期未処分剰余金》	319,668,424

《剰余金処分》

(単位:円)

I. 当期末処分剰余金	319,668,424
II. 当期剰余金処分額	
1. 法定準備金	31,500,000
2. 医療福祉等事業積立金	272,000,000
(病院新棟建設積立金)	(272,000,000)
合計	303,500,000
III. 次期繰越剰余金	16,168,424

注記	1. 次期繰越剰余金は、教育事業等繰越金です。
2.	法定準備金は赤字になった時に備えるものであります。教育事業等繰越金は教育事業の費用にあてられるものです。生協法及び定款では、出資総額の2分の1に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の10分の1以上を法定準備金として積み立て、20分の1以上を教育事業等繰越金として繰り越さなければならぬことを定めています。その基礎となる当期剰余金は、314,477,482円です。
3.	医療福祉等事業積立金は、全額、病院新棟建設積立として細分します。
《2023年度予算》	自2023年4月1日 至2024年3月31日 (単位:千円)
I. 事業収入	3,580,634
医療事業収入	2,687,991
介護事業収入	880,643
福祉事業収入	12,000
II. 事業用	3,450,460
医療材料費	287,310
一般管理費	3,163,150
事業剰余金	130,174
III. 事業外収入	72,850
IV. 事業外費用	11,000
経常剰余金	192,024
V. 特別利益	0
VI. 特別損失	6,000
税引前剰余金	186,024
法人税等 △	30,000
法人税等調整額	0
当期剰余金	156,024

